



2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 大幸薬品株式会社

コード番号 4574 URL <http://www.seirogan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴田 高

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部門担当 (氏名) 本間 豪 TEL 06-4391-1123

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 2020年12月14日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	10,967	—	4,238	—	4,114	—	2,858	—
2020年3月期第2四半期	4,385	14.6	980	52.3	882	46.2	641	43.2

（注）包括利益 2020年12月期第2四半期 2,850百万円（—％） 2020年3月期第2四半期 619百万円（45.4％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	66.29	65.95
2020年3月期第2四半期	15.06	15.05

（注）1. 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

2. 当連結会計年度は決算期変更の経過期間となり、当第2四半期連結累計期間については、当社並びに3月決算であった連結子会社は6ヵ月（2020年4月1日～2020年9月30日）、12月決算の連結子会社は9ヵ月（2020年1月1日～2020年9月30日）を連結対象期間とした変則決算となっております。このため、対前年同四半期増減率については記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	29,782	22,094	74.2
2020年3月期	25,473	19,373	76.0

（参考）自己資本 2020年12月期第2四半期 22,090百万円 2020年3月期 19,359百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	40.00	50.00
2020年12月期	—	7.00	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	—	—	10.00	17.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2020年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年4月1日～2020年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	—	5,500	—	5,300	—	3,800	—	88.49

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
2. 当連結会計年度は決算期変更の経過期間となり、通期については、当社並びに3月決算であった連結子会社は9ヵ月間（2020年4月1日～2020年12月31日）、12月決算の連結子会社は従来通り12ヵ月間（2020年1月1日～2020年12月31日）を連結対象期間とした変則決算となっております。このため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名） 台湾大幸薬品股份有限公司
除外 1社（社名） —

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期2Q	44,001,900株	2020年3月期	43,701,900株
② 期末自己株式数	2020年12月期2Q	685,351株	2020年3月期	769,863株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期2Q	43,127,148株	2020年3月期2Q	42,601,437株

(注) 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はT D n e t で開示するとともに、当社ホームページに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、2020年6月26日開催の第74回定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認されたことを受け、2020年度より決算日を3月31日から12月31日に変更致しました。このため、当連結会計年度は決算期変更の経過期間となり、当第2四半期連結累計期間については、当社並びに3月決算であった連結子会社は6ヵ月（2020年4月1日～2020年9月30日）、12月決算の連結子会社は9ヵ月（2020年1月1日～2020年9月30日）を連結対象期間とした変則決算となっております。このため、対前年同期比については記載しておりません。

当第2四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症の影響長期化に伴い、景気の先行きが不透明な状況が継続しております。

こうした中、当社グループは第1四半期に引き続き製品の安定供給に努めるとともに、「クレベリン」の新工場稼働に向けた準備を進めてまいりました。また「クレベリン」の主成分である二酸化塩素のウイルス・菌に対する安全性・有効性のエビデンスを蓄積する中で、新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）に対するデータ取得等も行ってまいりました。

※「クレベリン」は日用雑貨品のため、特定ウイルス・菌、疾病等に対する効果・予防等を謳うことはできません。

当第2四半期連結累計期間の業績は、医薬品事業につきましては、新型コロナウイルスの影響を受け店頭消化が伸び悩んだことから国内・海外共に低調に推移した一方で、感染管理事業につきましては、消費者の衛生管理意識の高まりを受け、当社製品に対する需要は高い水準で推移しました。

その結果、売上高は10,967百万円、営業利益は4,238百万円、経常利益は4,114百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,858百万円となりました。

セグメント別の経営成績につきましては以下の通りであります。

(医薬品事業)

医薬品事業につきましては、国内向けの売上高は、セイロガン糖衣Aの特徴を訴求した新しいテレビCMの放映等のマーケティング施策を行ったものの、消費者の外出自粛による携帯用アイテムの不振やインバウンド需要の減少等により店頭消化が伸び悩んだことから、主力の「正露丸」「セイロガン糖衣A」が低調に推移し、1,931百万円となりました。海外向けの売上高につきましても、国内と同様に新型コロナウイルスの影響は大きく、現地での需要は減少し、406百万円となりました。

その結果、セグメント売上高は2,337百万円、セグメント利益は855百万円となりました。

・外部顧客への売上高の内訳（医薬品事業）

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間（注）1 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	当第2四半期連結累計期間（注）2 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
国内	2,168	1,931
海外	537	406
合計	2,705	2,337

(注) 1. 当社並びに3月決算であった連結子会社は6ヵ月（2019年4月1日～2019年9月30日）、12月決算の連結子会社は6ヵ月（2019年1月1日～2019年6月30日）を連結対象期間としております。

2. 当社並びに3月決算であった連結子会社は6ヵ月（2020年4月1日～2020年9月30日）、12月決算の連結子会社は9ヵ月（2020年1月1日～2020年9月30日）を連結対象期間としております。

(感染管理事業)

感染管理事業につきましては、消費者の衛生管理意識が緊急事態宣言前後に比べるとやや落ち着きつつあるものの高い水準が継続しております。このような状況から、国内一般用製品では「クレベリン 置き型」を中心に「クレベリン スティック」や「クレベ&アンド」シリーズが、期首から好調に推移しております。また新製品の売上も寄与したことから、売上高は6,972百万円となりました。

国内業務用製品の売上高につきましても国内一般用製品と同様の傾向にあり、「クレベリンカートリッジ (車両用)」やオフィス向けの需要が高い水準で推移し、1,288百万円となりました。

海外向けにつきましては、中国や台湾を中心に新規チャネルの開拓、秋冬に向けたプロモーションの強化を進め、売上高は364百万円となりました。

その結果、セグメント売上高は8,625百万円、セグメント利益は4,147百万円となりました。

・外部顧客への売上高の内訳 (感染管理事業)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (注) 1 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (注) 2 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
国内：一般用	1,276	6,972
国内：業務用	326	1,288
海外	72	364
合計	1,675	8,625

- (注) 1. 当社並びに3月決算であった連結子会社は6ヵ月 (2019年4月1日～2019年9月30日)、12月決算の連結子会社は6ヵ月 (2019年1月1日～2019年6月30日) を連結対象期間としております。
2. 当社並びに3月決算であった連結子会社は6ヵ月 (2020年4月1日～2020年9月30日)、12月決算の連結子会社は9ヵ月 (2020年1月1日～2020年9月30日) を連結対象期間としております。

(その他事業)

その他事業につきましては、主に木酢液を配合した入浴液や園芸用木酢液等の製造販売を行い、売上高は5百万円となり、セグメント損益は8百万円の損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は29,782百万円 (前連結会計年度末比4,308百万円増) となりました。また、負債合計は7,688百万円 (同1,588百万円増)、純資産合計は22,094百万円 (同2,720百万円増) となりました。前連結会計年度末からの主な変動要因は、売上高の増加に伴う受取手形及び売掛金の増加や需要増加に備えたたな卸資産の増加等による流動資産2,833百万円の増加、生産能力増強を目的とした有形固定資産の増加等による固定資産1,474百万円の増加、増産に伴う原材料資材等調達に起因した支払手形及び買掛金の増加等による負債1,588百万円の増加、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加等による純資産2,720百万円の増加であります。なお、自己資本比率は前連結会計年度末から1.8ポイント減少の74.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、現金及び現金同等物 (以下、「資金」という。) が前連結会計年度末より1,419百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末残高は、8,226百万円となりました。なお、当第2四半期連結累計期間については、当社並びに3月決算であった連結子会社は6ヵ月 (2020年4月1日～2020年9月30日)、12月決算の連結子会社は9ヵ月 (2020年1月1日～2020年9月30日) を連結対象期間とした変則決算となっております。このため、対前年同期比については記載していません。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は100百万円となりました。主に税金等調整前四半期純利益4,112百万円、仕入債務の増加1,559百万円等の増加要因の一方で、たな卸資産の増加2,683百万円、売上債権の増加1,231百万円、法人税等の支払額847百万円、賞与引当金の減少366百万円、役員賞与引当金の減少104百万円等の減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,144百万円となりました。主に有形固定資産の取得による支出1,060百万円、事業譲受による支出50百万円等の減少要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は367百万円となりました。主に新株予約権の行使による株式の発行による収入222百万円の増加要因に対し、配当金の支払額571百万円等の減少要因によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の通期連結業績予想につきましては、2020年8月12日に公表致しました予想値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,906,154	8,477,898
受取手形及び売掛金	4,419,293	5,638,651
商品及び製品	1,346,242	3,638,350
仕掛品	355,933	579,767
原材料及び貯蔵品	322,936	491,703
その他	265,446	635,411
貸倒引当金	△32,000	△44,000
流動資産合計	16,584,007	19,417,783
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,848,265	2,780,234
機械装置及び運搬具(純額)	353,411	486,941
土地	1,820,047	1,820,047
建設仮勘定	1,798,259	2,945,289
その他(純額)	288,409	456,453
有形固定資産合計	7,108,392	8,488,965
無形固定資産	220,416	300,836
投資その他の資産		
投資有価証券	735,258	732,592
その他	825,678	842,330
投資その他の資産合計	1,560,936	1,574,923
固定資産合計	8,889,745	10,364,724
資産合計	25,473,752	29,782,508
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,005,831	2,555,366
未払金	1,142,800	1,388,932
未払法人税等	937,354	1,295,211
返品調整引当金	221,000	370,000
賞与引当金	601,660	235,094
役員賞与引当金	139,070	34,540
その他	746,769	475,356
流動負債合計	4,794,486	6,354,502
固定負債		
長期末払金	549,500	549,500
退職給付に係る負債	703,559	720,087
その他	52,247	63,952
固定負債合計	1,305,306	1,333,540
負債合計	6,099,793	7,688,042
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,032,471	1,148,764
資本剰余金	1,238,859	1,516,187
利益剰余金	17,533,104	19,819,441
自己株式	△539,854	△480,646
株主資本合計	19,264,581	22,003,747
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	95,032	86,461
その他の包括利益累計額合計	95,032	86,461
新株予約権	14,345	4,257
純資産合計	19,373,959	22,094,465
負債純資産合計	25,473,752	29,782,508

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	4,385,494	10,967,803
売上原価	1,263,003	3,138,595
売上総利益	3,122,491	7,829,207
返品調整引当金戻入額	191,000	221,000
返品調整引当金繰入額	201,000	370,000
差引売上総利益	3,112,491	7,680,207
販売費及び一般管理費	2,131,660	3,441,962
営業利益	980,831	4,238,244
営業外収益		
受取利息	2,378	5,532
為替差益	611	—
受取賃貸料	1,178	2,012
その他	2,371	1,295
営業外収益合計	6,539	8,840
営業外費用		
支払利息	237	113
為替差損	—	16,942
賃貸費用	979	1,029
未稼働設備関連費用	103,041	113,705
その他	688	313
営業外費用合計	104,947	132,102
経常利益	882,423	4,114,982
特別損失		
固定資産除却損	—	2,851
特別損失合計	—	2,851
税金等調整前四半期純利益	882,423	4,112,130
法人税、住民税及び事業税	111,367	1,215,758
法人税等調整額	129,353	37,607
法人税等合計	240,720	1,253,366
四半期純利益	641,703	2,858,764
親会社株主に帰属する四半期純利益	641,703	2,858,764

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	641,703	2,858,764
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△22,295	△8,570
その他の包括利益合計	△22,295	△8,570
四半期包括利益	619,407	2,850,193
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	619,407	2,850,193

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	882,423	4,112,130
減価償却費	238,935	268,325
固定資産除却損	—	2,851
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	18,496	16,528
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	10,000	149,000
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△246,965	△366,507
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△65,641	△104,530
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,000	12,000
受取利息及び受取配当金	△2,380	△5,534
支払利息	237	113
為替差損益 (△は益)	1,782	102
売上債権の増減額 (△は増加)	414,949	△1,231,520
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△685,328	△2,683,610
仕入債務の増減額 (△は減少)	537,791	1,559,989
未払金の増減額 (△は減少)	△373,689	△313,890
未払又は未収消費税等の増減額	△92,255	△188,039
その他	△191,810	△284,522
小計	443,545	942,884
利息及び配当金の受取額	5,182	5,896
利息の支払額	△237	△113
法人税等の支払額	△369,785	△847,964
営業活動によるキャッシュ・フロー	78,704	100,704
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△3,764
定期預金の払戻による収入	32,140	9,816
有形固定資産の取得による支出	△87,402	△1,060,012
無形固定資産の取得による支出	△47,424	△39,537
事業譲受による支出	—	△50,648
補助金の受取額	1,700	—
その他	805	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△100,181	△1,144,145
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△13,703	△18,203
配当金の支払額	△358,237	△571,396
新株予約権の行使による株式の発行による収入	23,857	222,498
自己株式の取得による支出	△540,368	△77
自己株式取得目的の金銭の信託の設定による支出	△280,171	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,168,623	△367,179
現金及び現金同等物に係る換算差額	△25,280	△9,334
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,215,381	△1,419,955
現金及び現金同等物の期首残高	7,192,818	9,645,980
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,977,437	8,226,025

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年6月26日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が161,034千円増加、自己株式が59,284千円減少、また新株予約権の行使により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ116,293千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が1,148,764千円、資本剰余金が1,516,187千円、自己株式が480,646千円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、台湾大幸薬品股份有限公司及び大幸薬品(深圳)有限公司を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

なお、台湾大幸薬品股份有限公司は、当社の特定子会社に該当しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,705,406	1,675,252	4,835	4,385,494	—	4,385,494
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,705,406	1,675,252	4,835	4,385,494	—	4,385,494
セグメント利益又はセグメント損失(△)	1,034,730	434,488	△12,221	1,456,997	△476,165	980,831

(注)1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,337,255	8,625,195	5,351	10,967,803	—	10,967,803
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,337,255	8,625,195	5,351	10,967,803	—	10,967,803
セグメント利益又はセグメント損失(△)	855,561	4,147,947	△8,419	4,995,089	△756,844	4,238,244

(注)1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。